　　【調査対象：学校】

　　 ＜Ⅰ　学校図書館の利用状況等＞

　　 ①　学校図書館の総貸出冊数平均値（平成31年４月１日～令和元年12月末）

　　（調査対象：総貸出冊数を把握している学校）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 平均値 | 小学校 | | 中学校 | | 高等学校 | | 支援学校等 |
| 公立  (n=820) | 国立・私立  (n=13) | 公立  (n=421) | 国立・私立  (n=47) | 公立  (n=154) | 国立・私立  (n=65) | 国立・公立  (n=32) |
| 27,158冊 | 16,675冊 | 2,285冊 | 4,543冊 | 1,117冊 | 3,748冊 | 904冊 |

　　 ②　学校図書館の開館状況

　　　 （授業期間の平日の開館日数）

※週６日開館の学校を含む

　　　（長期休業期間の開館状況）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 開館している | 開館していない |
| 小学校 | 公立  (n=981) | 49.5％ | 50.5％ |
| 国立・私立  (n=16) | 43.8％ | 56.3％ |
| 中学校 | 公立  (n=461) | 45.6％ | 54.4％ |
| 国立・私立  (n=49) | 81.6％ | 18.4％ |
| 高等学校 | 公立  (n=173) | 68.2％ | 31.8％ |
| 国立・私立  (n=67) | 85.1％ | 14.9％ |
| 支援学校等 | 国立・公立  (n=49) | 20.4％ | 79.6％ |

　　　③　各教科等での学校図書館の利用状況（複数回答可）

　　　④　調べ学習の方法（複数回答可）

　　＜Ⅱ　学校図書館の運営＞

　　 ⑤　学校図書館の円滑な運営を図るための組織の設置割合

　　　⑥　組織の開催頻度及び構成員

　　　（調査対象：⑤で「設置している」と回答した学校）

　　 ⑦　組織を設置しない理由（複数回答可）

　　　（調査対象：⑤で「設置していない」と回答した学校）

　　 ＜Ⅲ　公立図書館との連携＞

　　 ⑧　連携を行っている学校の割合

　　　⑨　連携内容（複数回答可）

　　　（調査対象：⑧で「連携を行っている」と回答した学校）

0.0％

　　 ⑩　連携を行っていない理由（複数回答可）

　　　（調査対象：⑧で「連携を行っていない」と回答した学校）

公立図書館が学校図書館との

連携を実施していない

学校図書館の機能が学校教育を

実施する上で十分である

読書ボランティア等と連携して

読書環境の充実に努めている

公立図書館が学校図書館との

連携を実施していない

学校図書館の機能が学校教育を

実施する上で十分である

読書ボランティア等と連携して

読書環境の充実に努めている

　　 ⑪　今後、公立図書館と望む連携内容（複数回答可）

　　＜Ⅳ　読書ボランティアとの連携＞

　　　⑫　連携を行っている学校の割合

　　　⑬　連携内容（複数回答可）

　 　　（調査対象：⑫で「連携を行っている」と回答した学校）

　　 ⑭　連携を行っていない理由（複数回答可）

　　　（調査対象：⑫で「連携を行っていない」と回答した学校）

連携するボランティアがいない

学校図書館の人材が学校教育を実施する上で十分である

ボランティアと学校の条件が合わない

連携するボランティアがいない

ボランティアと学校の条件が合わない

学校図書館の人材が学校教育を実施する上で十分である

　　＜Ⅴ　子ども読書活動推進の取組＞

　　 ⑮　取組を行っている学校の割合

　　　⑯　取組内容（複数回答可）

　　　　（調査対象：⑮で「取組を行っている」と回答した学校）

家読の推奨

その他

児童・生徒の生活時間を見直す取組の推奨

校種間連携による取組

公立図書館司書やボランティア等外部人材による本の紹介

学校の教職員による本の紹介

学校図書館担当職員による

本の紹介

コンクール（読書感想文、調べ学習等）への参加

読書を記録するカードの使用

「読書マラソン」など読書量

　を競う活動

目標とする読書量の設定

教室に児童・生徒が自由に

読める本の設置

必読書コーナー等の設置

児童・生徒による本の帯や

ＰＯＰづくり

ビブリオバトル

ブックトーク

図書の読み聞かせ

一部の学年で一斉読書を実施

全学年で一斉読書を実施

学校図書館の利用方法等の

オリエンテーション

学校図書館の利用方法等の

オリエンテーション

一部の学年で一斉読書を実施

図書の読み聞かせ

ブックトーク

「読書マラソン」など読書量

　を競う活動

その他

全学年で一斉読書を実施

ビブリオバトル

児童・生徒による本の帯や

ＰＯＰづくり

必読書コーナー等の設置

教室に児童・生徒が自由に

読める本の設置

目標とする読書量の設定

読書を記録するカードの使用

コンクール（読書感想文、調べ学習等）への参加

学校の教職員による本の紹介

学校図書館担当職員による

本の紹介

公立図書館司書やボランティア等外部人材による本の紹介

校種間連携による取組

家読の推奨

児童・生徒の生活時間を見直す取組の推奨

学校図書館の利用方法等の

オリエンテーション

全学年で一斉読書を実施

一部の学年で一斉読書を実施

図書の読み聞かせ

ビブリオバトル

児童・生徒による本の帯や

ＰＯＰづくり

必読書コーナー等の設置

「読書マラソン」など読書量

　を競う活動

コンクール（読書感想文、調べ学習等）への参加

学校図書館担当職員による

本の紹介

その他

ブックトーク

教室に児童・生徒が自由に

読める本の設置

目標とする読書量の設定

読書を記録するカードの使用

学校の教職員による本の紹介

公立図書館司書やボランティア等外部人材による本の紹介

校種間連携による取組

家読の推奨

児童・生徒の生活時間を見直す取組の推奨

「読書マラソン」など読書量

　を競う活動

学校図書館の利用方法等の

オリエンテーション

学校図書館担当職員による

本の紹介

その他

全学年で一斉読書を実施

一部の学年で一斉読書を実施

図書の読み聞かせ

ブックトーク

ビブリオバトル

児童・生徒による本の帯や

ＰＯＰづくり

必読書コーナー等の設置

教室に児童・生徒が自由に

読める本の設置

目標とする読書量の設定

読書を記録するカードの使用

コンクール（読書感想文、調べ学習等）への参加

学校の教職員による本の紹介

公立図書館司書やボランティア等外部人材による本の紹介

校種間連携による取組

家読の推奨

児童・生徒の生活時間を見直す取組の推奨

　　　⑰　取組を行っていない理由（複数回答可）

　　 　　（調査対象：⑮で「取組を行っていない」と回答した学校）

どのように実施すればよいかわからない

どのように実施すればよいかわからない

　　　⑱　今後、有効だと考える学校の取組内容

(n=981)

(n=16)

(n=461)

(n=67)

(n=49)

　 【調査対象：教育保育施設】

＜Ⅰ　保護者を対象にした読書活動推進の取組＞

①　取組を行っている教育保育施設の割合

②　取組内容（複数回答可）

　　 （調査対象：①で「取組を行っている」と回答した教育保育施設）

絵本の読み聞かせ講座

おすすめ絵本の紹介

おすすめ絵本リストの作成・配付

家庭への絵本の提出

家庭への絵本の貸出

読書の記録ノートの推奨

その他

　　 ③　取組を行っていない理由（複数回答可）

　　 （調査対象：①で「取組を行っていない」と回答した教育保育施設）

予算的余裕がない

時間的余裕がない

人的余裕がない

実施方法がわからない

保護者が絵本の読み聞かせの効果などを十分に理解している

保護者の要望がない

その他

　　 ＜Ⅱ　職員以外による子ども読書活動推進の取組＞

④　取組が行われている教育保育施設の割合

⑤　取組の実施者及び取組内容（複数回答可）

　 （調査対象：④で「取組が行われている」と回答した教育保育施設）

ストーリーテリング

（おはなしの語り）

⑥　取組が行われていない理由（複数回答可）

　 　 （調査対象：④で「取組が行われていない」と回答した教育保育施設）

職員の取組が充実

している

取組の実施者と日

程等の調整が困難

その他

＜Ⅲ　公立図書館との連携＞

⑦　連携を行っている教育保育施設の割合

　　 ⑧　連携内容（複数回答可）

　　 （調査対象：⑦で「連携を行っている」と回答した教育保育施設）

⑨　連携を行っていない理由（複数回答可）

　　 （調査対象：⑦で「連携を行っていない」と回答した教育保育施設）

0.0％

公立図書館が遠い

時間的余裕がない

人的余裕がない

連携する公立図書館がない

連携方法がわからない

公立図書館が教育保育施設との連携を実施していない

絵本ルームや絵本コーナーが充実している

職員の要望がない

ボランティア等と連携して読書環境の充実に努めている

その他

⑩　今後、公立図書館と望む連携内容（複数回答可）

0.0％